

読書週間イベントその1

10月27日～11月9日は読書週間です

「読書週間」とは？



昭和22年、「読書の力によって平和な国家を作ろう」という決意のもと、出版者・取次会社・書店・公共図書館、そして新聞・放送などのマスコミ機関が加わって、11月17日から第1回「読書週間」が開催されました。「1週間では惜しい」という声をうけ、翌年の第2回からは10月27日～11月9日（文化の日を中心にした2週間）となりました。期間中は、各機関で読書推進のための講演会や展示、イベントなどを開催しています。

POPで紹介

みんなのオススメ本

募集期間(休館日をのぞく):

9月15日(土)～
10月14日(日)

対象:小学生以上・一般の方
※応募用紙の注意事項を必ず読んでください。

参加賞も
あります☆

その他にも下記のイベントを計画中！
詳細は次号でお知らせします。

●「親子で楽しむことばあそびと

巻き巻き絵本づくり 講師:久納圭子先生」11月11日(日)

●「気になる本の木育てましよう」10月20日(土)～11月9日(土)

図書館をご利用のみなさんにおすすめしたい本を「POP」で紹介しませんか？図書館のホームページや図書館内、各小中学校図書室にある応募用紙と作品と一緒に図書館まで持ってきてください。10月23日(火)から図書館内で展示予定です。たくさんの応募お待ちしております★

POP「POP」とは？

書店などで見かける本の紹介カードのことです。

書庫コレクション開催中

貸出があまりない本は書庫（閉架書庫ともいいます）へ移動しています。今回、書庫にある小説の一部を「書庫コレクション」として貸出カウンター前に展示しています。「あ」行の作者から約1か月置きに入れ替えを行っています。現在は「ま」行の作者です。あの頃読みたかった小説、人気作家の過去の作品などなど。ぜひ手に取ってご覧ください。



2012年 10月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

2012年 11月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

開館時間
火～金
10:00～19:00
土・日・祝
10:00～17:00

- ♪ おはなし会 好評開催中♪
- あんころもち (0歳向け 火曜14時～)
 - きびだんご (0～3歳向け 第1・3水曜 14時半～)
 - おはなし会 (3歳以上向け 土曜14時～)

【訂正とお詫び】
9月号「有明海を知ろう」の有明海だけにいる生物は、日本で23種、世界で7種でした。

ぬりつぶし: お休みです

とほかん日記

年に1度の蔵書点検の季節がやってきました。仕事内容はごく簡単に述べると、①市民の財産である資料がなくなっていないか ②あるべき場所に資料があるか、この2点の確認です。蔵書冊数は約17万冊。これらを全て機械で1冊1冊確認してゆきます。図書館員にとって最も辛い期間です。みな、栄養ドリンクやら湿布やらが手放せません。正確な作業をしなければならないという緊張と日程内に終えなければならないという焦り、連続する肉体労働と舞い上がるホコリの中で心身共にヘトヘトになります。しかし、お求めの資料を迅速かつ正確に提供するためには欠かすことはできない作業ですので、今年も頑張ります!! 長期間の休館でご迷惑をおかけしますが、どうぞよろしくおねがいいたします。(M)

みんと

第131号

2012年 10月

今月のみんと

- ★ 特別整理期間による休館のお知らせ
- ★ 鹿島の歴史や文学に触れてみませんか
- ★ 10月31日はハロウィン★
- ★ 新着本
- ★ 10月27日～11月9日は読書週間です
- ★ 書庫コレクション開催中



発行 かしま市民立薬修大学
鹿島市民図書館
〒849-1312
鹿島市大字納富分 2700-1
Tel (0954) 63-4343
Fax (0954) 63-2217
ホームページ
http://www.library.city.kashima.saga.jp
<QRコード>
Eメール kashimal@theia.ocn.ne.jp

特別整理期間による休館のお知らせ

10月15日(月)～19日(金)は特別整理期間のため、休館いたします。

休館中は、蔵書の点検、整理、不明資料の検索など開館中にできない作業を行います。ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

返却について

休館中の本の返却は「本のポスト」(エイブル正面玄関横)にお願いします。ただし、下にあげているものは破損の恐れがあるため、10月20日(土)にカウンターにお持ちください。

■ポストに返却できないもの■

- ・CD ・DVD ・ビデオ ・CD/DVD/CD-ROM が付録でついている本
- ・雑誌 ・大型絵本 ・紙芝居 ・シアター ・汚れや破れがあるもの

HPについて

休館中は、パソコン、携帯での本の検索や予約、利用照会、パスワードやメールアドレスの登録、変更はできません。ただし、予約取り置き連絡は特別整理期間終了後からとなります。

いすは、おいていません

お気づきかもしれませんが、図書館のカウンタースタッフはいつも立って皆様の対応をしています。カウンター内には、レファレンスデスクのいす1脚のみしか置いていないのです。動きやすいからです。返却コーナーから、2つある貸出コーナー、本のチェック、館内案内と状況を見てスタッフはすばやく移動します。そして、事務室との間はいつも全開にしています。予算、発注処理などデスクワークをしながらも、カウンターを見渡していつでも出ていける態勢で仕事をするためです。図書館で働くようになって1年半、私もなるべくカウンターに立つようにしていますが、初めは足が痛みました。でも、このやり方が鹿島市民図書館には向いているのだろうと、この頃思います。

もっと大きな図書館では、きっちりと分業し、自動貸出機を入れるというのも一般的ですし、県内でもそうした機械をふやしてスタッフの人員を減らす流れがあります。でも、自動貸出機は貸出しかできないのです。受け取った本を1冊ずつ確かめ、補修に回したり挟まれた忘れ物を連絡したり、時には赤ん坊をだっこし、お探しの本まで案内した帰りに本棚の乱れを整理する……。そんな複雑な機械はありません。そうしたすべてをこなせるのはやはり人間です。そこで得た情報が、どんな本が足りなくて買い替えが必要か……などという選書につながっていくのです。

もちろん、機械が全て不要と言っているわけではありません。昨秋から、web上予約を始めましたし、メルマガ登録をおすすめしているところでも、HPやツイッターもどんどん更新していますので是非ご覧ください。「最新の機器を使って血の通ったサービス」をすることをめざし、「機械に使われるひと」ではなく「機械を使いこなすひと」づくりに寄与したいと考えています。
図書館長 野崎千代美





鹿島の歴史や文学に触れてみませんか

図書館には鹿島市在住の方や、鹿島市出身の方の本が多くあります。郷土資料コーナーの一部をご紹介します。

樋口久俊 鹿島市長

「東京でみつけた『鹿島』」
樋口久俊：著 けやき会：出
東京暮らしの頃に書きためていた文章を2008年に書籍化。東京の歴史や建造物とそれに関係のある鹿島ゆかりの人物などが一章ずつにまとめられています。話にでてくる「スケッチ」として石橋さんの水彩画も巻頭に掲載。



【表紙画：石橋成行さん】

<他にも>

★『続 東京で見つけた「鹿島」』

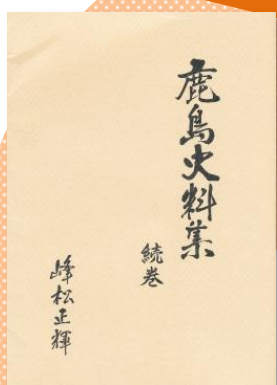
■七浦地区を舞台に撮影された「路傍の灯」(1959年制作、36分)で鹿島市長は主役の少年を演じています。けやき会(当時、けや木会)の方たちがフィルムを探し出し、DVD化したものを2007年に図書館に寄贈してくださいました。館内用と貸出用があります。当時の懐かしい映像をぜひご覧ください。

歴史

峰松正輝さん 鹿島市在住の郷土研究家

「鹿島史料集 続巻」

峰松正輝：著
歴史史料は貴重であるため容易に閲覧できないものや、また知識がないと解読できないため一般にその存在を知られていないものが多いです。著者は散在している鹿島藩に関する史料を調査し、活字にして2010年に上下巻を出版。続巻ではその続きや研究によってわかったこと、懐かしい写真などが追加されています。



【題字：幸尾孝之さん】

歴史

<他にも>

鹿島関連の史料を後世へ伝え残したいという思いから、上記の書籍をはじめ図書館に多くの書籍を提供してくださっています。

- ★「肥前國藤津郡 濱宿界隈の歴史」
- ★「鹿島史料集 上下巻」
- ★『佐賀県近世史料 鹿島関係の抜粋「鹿島史料集」別冊、其の巻』(※館内資料)



西沢杏子さん 鹿島市出身の詩人

「どんどん どんぐり！」

飯村茂樹：写真 西沢杏子：文
チャイルド本社：出
ぞうきばやしに秋がきました。落ち葉にまじってたくさんのどんぐりが落ちています。どんぐりにはいろんなかたちがあって、いろんなどうぶつたちがどんぐりをもとめてやってきました。西沢さんの文が心地よく声に出しても楽しい本です。



2003年には鹿島市民図書館にて「朗読とお話」と題して、西沢さんの講演会も開催しています。

文学

<他にも>

- ★「青い一角の龍王」
西沢杏子：作 あらきあいこ：絵
朝日小学生新聞社：出
- ★「詩集 虫の落とし文」
西沢杏子：著 朝日新聞社
- ★「虫や草やあなたやわたしや
むしゃくしゃや」
西沢杏子：著 北村麻衣子：装挿画
てらいんく
など、その他にも多数あります。



その他にも

- 徳本栄一郎さん 鹿島市出身のジャーナリスト「英国機密ファイルの 昭和天皇」(新潮社)ほか
 - 下村康二さん 鹿島市出身の画家「下村康二作品集」(下村康二)
 - 金子剛さん 鹿島市出身の画家「金子剛作品集 1956-2000」(金子剛と教え子達展実行委員会)
 - 井手洋子さん 鹿島市出身の映画監督「ショーとタカオ」(文藝春秋社)【一般書コーナー】
 - 中村世子さん 鹿島市在住のマンガ家「友嬢サバイバル! ①②」(白水社)【マンガコーナー】
- ここに掲載されていない方も多くいらっしゃいます。郷土資料コーナーをぜひのぞいてみてください。

10月31日はハロウィン★

ハロウィンがテーマの楽しいおはなしを紹介★



「おおきなかぼちゃ」

エリカ・シルバマン：作・S. D. ソター：絵
おびかゆうこ：訳 主婦の友社：出

明日はハロウィン。魔女は育てたかぼちゃをとりに行きますが、びくともしません。そこへゆうれいがやってきました。でも、かぼちゃはびくともしませんでした。有名なロシア民話にヒントを得た絵本。



「ゆめちゃんのハロウィーン」

高林麻里：作 講談社：出

ニューヨークで暮らすゆめちゃんは、今年初めてハロウィーンをすることにしました。家を飾りつけたり、仮装の準備をしたり大忙し。10月31日夜、ゆめちゃんは「おばけやしき はいって!」と書かれた家にたどり着きました。



「ハロウィン ドキドキ おばけの日！」

ますだゆうこ：作 たちもとみちこ：絵
文溪堂：出

レイはこわがりでおばけが大きい! だからハロウィンがゆううつ…。めだたないおばけの仮装をして寝ていたら、わあ～!? おばけがでた～! ハロウィンの豆知識も掲載。みんなでハロウィンを楽しもう★

新着本

下記以外にも『十五夜物語』夢枕獏：著・寺田克也：著(小説)、『神様のカルテ 3』夏川草介：著(小説)、『置かれた場所で咲きなさい』渡辺和子：著(哲学)、『振袖日和 2014』新潮社(技術)などいろんなジャンルの本が届いています。



『カラマーソフの妹』
高野史緒：著 講談社：出
『カラマーソフの兄弟』には続編がある。作者・ドストエフスキーの死によって書かれることがなかった第二部が日本の作家によって作り出された。不可解な「父親殺し」から13年。未解決事件に特別捜査官が挑む。江戸川乱歩賞受賞。

小説



『ペコロスの母に会いに行く』
岡野雄一：著 西日本新聞社：出
認知症になった母は、人生の重荷を下したかのようにゆっくりと忘れていく…。母とのやりとりを温かいタッチでつづった漫画エッセイ。岩松了主演で映画化も決定。

エッセイ



『佐賀県の歴史散歩』
佐賀県高等学校地歴・公民部会歴史部会：編 山川出版社：出
「佐賀県の歴史散歩」が17年ぶりに改訂。県内を大きく6つにわけ散歩モデルコースを掲載。鹿島は誕生院、浜町などを紹介。持ち運びに便利なサイズです。普段の町並みも歴史を知ることによって見方が変わるかもしれません。

郷土



『全員参加のわくわく 児童劇シナリオ 3』
福田哲男：著 学陽書房：出
日本だけでなく海外でも人気のシナリオ集シリーズ第3弾。子どもも楽しみながら演じることができる13本を掲載。アイデアでアレンジも可能。子どもの人数も調節できるので学級の出し物に活用できます。

芸術



『かわいい布地蔵』
きくちいま：著 河出書房新社：出
ペットボトルのフタやはぎれなど、家にあるもので簡単に作れちゃう! 縫い方を変えると笑ったり、泣いたり表情もさまざま。ストラップの作り方もあり、贈り物にも喜ばれそう。家族や友だちと一緒に楽しく作りませんか。

技術